

会 議 録

1 会議名

平成 23 年度 第 2 回 第 4 次上越市行政改革大綱等策定委員会

2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 第 4 次行政改革推進計画の策定スケジュール（案）について（公開）
- (2) 第 4 次行政改革推進計画の構成内容について（公開）
- (3) 第 4 次行政改革推進計画を構成する「個別計画」について（公開）

3 開催日時

平成 23 年 7 月 25 日（月）午後 2 時から 4 時 15 分まで

4 開催場所

上越市役所 5 階 第 2 委員会室

5 傍聴人の数

0 人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：東條邦俊、松根登道、木澤勝、木原満男、新貝美香、小出優子、三浦元二
- ・事務局：市村総務管理部長、永野行政管理課長、市川副課長、星野係長、太田主事

8 発言の内容

○第 4 次行政改革推進計画の策定スケジュール（案）について

【永野行政管理課長】

- ・資料 1 に基づき説明

【東條委員長】

- ・答申はしないということでよいか。

【永野行政管理課長】

- ・答申はいただかないが、十分に意見を聞いていきたい。
- ・大綱策定時には、意見の反映作業が間に合わずにパブコメに入ってしまったが、今回は十分にみなさんの意見を聞いて、何を反映させ、何を反映させなかったのかを示しながら進めていきたい。

【木原委員】

- ・2回目以降はどのタイミングで開催するのか。
- ・十分に意見を聞くと言っているが、今の段階でどのように考えているのか。

【永野行政管理課長】

- ・今のところ2回で考えているが、必要に応じて3回目ということも考えている。

【木原委員】

- ・もらった資料からして、ほとんどつまっていない状態。2回目で意見交換しても、その結果を踏まえて協議する場がない。十分に意見を聞くと言っているが、実行性がともなっていないのではないかと。
- ・我々の総意として意見をまとめなければならないのに、2回しか予定されていないのはいかがか。

【東條委員長】

- ・議論の流れの中で必要に応じてやるとのことなので、それでよいのではないかと。
- ・他のみなさんもいかがか。
(一同、意見なし)
- ・2回やってみて、さらに議論が必要であれば3回目をやることとしたい。

○第4次行政改革推進計画の構成内容、第4次行政改革推進計画を構成する「個別計画」について

【永野行政管理課長】

- ・資料2、3に基づき説明

【三浦委員】

- ・個別計画ができていない中で、どのように議論を進めていくのかが見えない。
- ・しっかりとした資料を提示してもらって、前倒しで議論していくというやり方をしてもらわないと、どう議論していいのかわからない。
- ・また、資料2についても、具体的な取組項目の個表もこれでいいのかという議論もあるはずなのに、議論がされないまま資料3に入っている。

【永野行政管理課長】

- ・ガス等の中期経営計画や人材育成方針といった、既に出来上がっている個別計画については資料としてお送りさせていただいたが、それ以外については9月中旬くらいにみえてくる。
- ・個別の中身としては、ガスや人事のように内容が厚くなっているものもあるが、ものによってはシート1枚のものもある。
- ・具体的な数字や政策形成途中の情報も入ってくるので、どのように見せていくかが難しいところではある。
- ・個別計画がある程度でき上がらないと議論にならないのも分かるが、今、個別計画としてリストアップしたものが、具体的な取組にアプローチしているのかを議論してほしい。また、個別の表についても議論してほしい。

【東條委員長】

- ・個別計画が出揃っておらず、材料がない中で難しいという意見も分かるが、内容ではなく方向性としてよいか、いらぬとか、そういうことでよいと思う。
- ・意見を入れながら個別計画を作ってもらえばよい。

【三浦委員】

- ・これまで、個別計画に基づいて推進計画を策定するとの説明を受けてきたので、個別計画の方向性を議論するのではなく、整合を確認した中で、推進計画を議論すべきと思った。
- ・個別計画と推進計画の関連性や整合をきちんと示してほしい。

【永野行政管理課長】

- ・個別計画に掲げられている取組が 100 あるとすれば、20 くらいをダイジェスト版として推進計画に入れていくことになると思う。
- ・確かに、もとの計画がないと議論できないというご意見も分かるが、9 月には提示できると思う。

【木原委員】

- ・個別計画にのっとして推進計画を作るのと、5 次総から推進計画を作るのでは流れが違う。
- ・個別計画を作ってから推進計画を作ると言っていたのに、今、個別計画がない中で議論しても、ちぐはぐになるのではないか。やり方としていかがか。
- ・個別計画と行革の関わりはどうか。個別計画に対して我々が意見できないとすれば、それはおかしいのではないか。

【三浦委員】

- ・個別計画すべてに目を通すことはできないが、個別計画と行革のつながり、5 次総、他の計画との兼ね合いがある。行革の位置付けとしてどうなっているか流れとして分かった上で議論すべきでないか。
- ・また、取組の主管課が、自分たちの取組と推進計画の取組がどのように関連するのか、分かっているなければならないのではないか。

【永野行政管理課長】

- ・様々な角度から、個別計画と行革の取組を説明できるようにしていきたい。
- ・市全体として取り組んでいかなければならないので、取組の主管課と議論していきたい。

【東條委員長】

- ・個別計画については、次回の提示方法を検討してほしい。
- ・今回は、総体的に道筋が誤っていないか確認し、次回から具体的な議論をしていくこととしたい。

【小出委員】

- ・地域事業費制度の見直しについても、市長が十分に議論しないで決めたような気がする。

【東條委員長】

- ・地域事業費制度の見直しについては、議題とは直接、関係ないので、後ほど時間があれば課長から答えてもらいたい。
- ・資料2の推進計画のイメージについてはどうか。

【三浦委員】

- ・具体的な取組項目の個表について、現在の状況なり数値があってから26年度の目標につながる方が分かりやすい。
- ・数値目標の場合、現状と目標とのつながりが見えないので、個表の中で現在の数値を示した上で、26年度の目指すべきところを示さないと我々は判断できない。
- ・また、前段の「現状と課題」もこんなにゆるやかでいいのか。ポイントはおさえるべきでないか。

【永野行政管理課長】

- ・「現状と課題」については課によって温度差があるので、今後、統一していきたい。また、現在の数値や目標など、見せ方を工夫していきたい。

【東條委員長】

- ・22年度の実績があると分かりやすい。
- ・資料3について項目ごとに確認していきたい。「マネジメントシステムの強化」についてはいかがか。

【木原委員】

- ・事業評価という言葉を使っているが、総ざらいと同じことをやるのであれば、言葉を統一してほしい。
- ・また、目標を数値化するのは難しいと思うが、指標を透明化して採点するか、そういったことはできないか。

【永野行政管理課長】

- ・今後は事業評価としてやっていく。
- ・具体的にどのようにやっていくかは、事業評価という個別計画を整理する中でご理解いただけたらと思う。

【東條委員長】

- ・「効率的で効果的な財政運営」についてはどうか。

【三浦委員】

- ・委託は、学校給食だけで効果があるのか。
- ・また、次の項目になるが、公の施設の再配置は、全体の再配置計画がある上で、保育園だけが別計画となっている理由は何か。

【永野行政管理課長】

- ・多くの取組があり、その代表として入れた。

【三浦委員】

- ・市全体としての委託計画があるのならわかるが、保育園とのつながりからいっても分かりにくい。
- ・また、協働と委託の関係も整理する必要があるのではないか。

【木原委員】

- ・ガス事業や水道事業には数値目標が入っているのに、他の目標については、数値が入れられるのに入れていないものがあり、甘い。
- ・終期の明確化も、終期を設定したことによる削減額を設定してはどうか。
- ・整備計画や類似事業も数字を出せないか。委託も実施校の数ではなく削減額とすべきではないか。
- ・3次大綱では数字を出している。後退しているのではないか。数値化できるものなど、目標を掘り下げて設定すべき。

【永野行政管理課長】

- ・数値は出せないものもある。

【木原委員】

- ・出せるものは出すべき。すべてを数値化せよ、という訳ではない。

【東條委員長】

- ・無理なものを数値化するのは意味がないが、内部で検討してほしい。

【小出委員】

- ・学校給食の委託や職員数の削減など、簡単どころから手を付けているような気がする。それが本当の行革なのか。何をしたのか分からない。
- ・その反面、地域活動支援事として2億円をばらまいている。地域事業費にしても、議論が足りないと思う。

【永野行政管理課長】

- ・地域活動支援事業は市長公約に基づいた事業であり、地域協議会で事業選定の基準づくりも含めて使い方を決めていただいている。
- ・地域の課題解決や新しい公共を担っていただく呼び水的な効果もあると考えている。
- ・地域事業費制度の見直しについても、70回以上の説明を重ね、議論を深めてきた。

【東條委員長】

- ・「公の施設の見直し」についてはどうか。

【新貝委員】

- ・保育園の再配置について、古い保育園とプールがあるような新しい保育園で保育料が変わらない。
- ・財政の健全化に特化すると道を間違える可能性はないか。

【永野行政管理課長】

- ・個別計画の策定については、現在、当課や財政課が一体となりヒアリングを行っているが、保育園の再配置については、非常にデリケートな問題であり、整備時期や老朽化の具合による差異なども考慮しながら、慎重に進めている。

【木澤委員】

- ・最近では、こどもの数が多い地域と少ない地域、保育園はいっぱいなのに幼稚園には空きがあるといったようなアンバランスがあるため、そのような状況も踏まえて検討する必要がある。

【東條委員長】

- ・「第三セクター等の経営改善」についてはどうか。

【松根委員】

- ・公社については、結論が出ているのではないか。なぜ、検討中となっているのか。

【東條委員長】

- ・具体的な方法論が難しいということではないか。

【木原委員】

- ・第三セクターについては、26年度目標に結びつく計画となっているか。健全経営とは赤字になっていないことを指すのか。

【永野行政管理課長】

- ・大綱で示しているが、持株会社化することで、各社に共通する経費を浮かせることを検討している。

【木原委員】

- ・それを数値化すればよいのではないか。

【東條委員長】

- ・「ガス事業・水道事業・簡易水道事業」についてはどうか。
(一同、意見なし)
- ・「病院事業」についてはどうか。

【三浦委員】

- ・個別計画で出てくる医師確保計画と具体的な取組項目名の未納料金の縮減とはどう関連するのか。
- ・取組項目名を「健全経営」とすれば分かりやすいのではないか。

【永野行政管理課長】

- ・整理する。

【東條委員長】

- ・「下水道事業」についてはどうか。
(一同、意見なし)
- ・「農業集落排水事業」についてはどうか。
(一同、意見なし)
- ・「市が保有する資源を活用した歳入確保」についてはどうか。
- ・公社の取組とは一緒にできないのか。

【永野行政管理課長】

- ・整理する。

【東條委員長】

- ・「組織機構改革」についてはどうか。

【木原委員】

- ・総人件費で検討する必要はないか。これを入れないと意味がないのではないか。職員を減らしても総人件費が増えないということをはっきり示してほしい。

【永野行政管理課長】

- ・検討する。

【松根委員】

- ・災害があった場合、コンピューターのデータはどうなるのか。

【東條委員長】

- ・バックアップがとられているはずである。
- ・「人材育成」についてはどうか。

【三浦委員】

- ・人材育成方針からすべてを個別計画としてピックアップしているが、5つとも行革的視点によるものという考えからか。行革的視点で管理するというよりも個別計画で管理することになるのではないか。
- ・また、個別計画に出てくる言葉が人材育成方針には記載されていなかったの
で、そのような視点でもチェックしてほしい。

【東條委員長】

- ・「近隣社会における共生」についてはどうか。

【三浦委員】

- ・市長公約を行革の個別計画に取り上げるのはふさわしいのか。
- ・また、これだけ市長公約だからと言って25年度で終わりにするのはいかが
か。

【永野行政管理課長】

- ・検討する。

【木原委員】

- ・取組名として、すでに取り組んでいるのだから、地域活動支援事業の実施で
はなく、「発展」とか「高度化」といった内容に変更できないか。

【東條委員長】

- ・確認してほしい。
- ・「多様な市民活動」についてはどうか。
(一同、意見なし)
- ・「市民と行政の協働」についてはどうか。

【木原委員】

- ・数値化できない場合、どのように評価するのか。参加人数や相談件数といっ
たところか。現在の数値を5%ずつ伸ばすなどということも考えられる。

【東條委員長】

- ・今日は駆け足で議論してきたので、再度、意見を聞くフォーマットを皆さん
にお送りし、改めて意見を聞いてほしい。

【市川副課長】

- ・次回の会議は9月中旬を予定しているが、進め方によっては急な案内や回数
が増えることになるかもしれないのでご承知置きいただきたい。
- ・フォーマットについても、別途、ご案内させていただく。

9 問合せ先

総務管理部行政管理課行革推進係 TEL：025-526-5111（内線1436）

E-mail:gyouseikanri@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。